

◎伊勢ペーパー
フラワー教室
代表 宮路慶子さん
(池之久保)

上西だより

～上西校区集落支援員だより～

西之表市地域支援課
上西集落支援員
馬場 信一 編集
連絡先090-9579-3953
上西校区長責任発行



本物と間違えるほどの作品を

「教室のみんなが頑張るから、私も頑張れるのです」と語るのは、ペーパーフラワー指導歴26年の宮路慶子さんです。

宮路さんは元々ペーパーフラワーの指導をされていたお母さんの跡を継ぎ、現在3つの教室で28名の指導をされています。

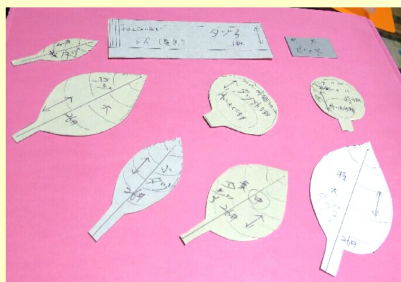
実際の作品をご覧になった方も多いと思います。なぜこれほど見事な作品ができるのか、その秘密を取材しました。

作り方（椿）

- ① 本物の椿をよく観察する。
- ② この椿の花びらやおしべめしべ、がく、葉、枝を一枚ずつついでいねいに切り離す。



- ③ スケッチし、それをもとにして型紙を作る。
(右写真)

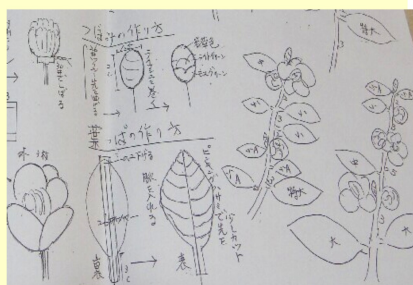


おしべの形はどうなっている？めしべは？花びらや根の形は？と実物を観察。長さも記録しながらスケッチします。

ときには花屋さんに通うこともあります。

(宮路さんの言葉)

- ④ 設計図を描く。
(右写真・部分)



- ⑤ 芯となる針金を色紙で巻き、根や枝を作る。



ただいま制作中...

- ⑥ 型紙をもとに葉や花びらを切り取り、糊で合わせ形づくり。



みごとに完成!

教室の皆さんには型紙と設計図を渡し、材料を選んでもらい、そして制作開始です。(宮路さん)

教室のみなさんの声

○一日中何かしていても、つい自分が作った花に目がいきます。花を見れば穏やかな気持ちになります。やさしさを花からもらっています。

○もっと早くこの教室に入っていたらよかった。とても楽しいです。

今後の目標

- *展示会に向けての作品づくり
- *新しく作る花の研究

本物と見まごうほどの作品がなぜできるのか、わかりました。だから市文化祭のみならず、県交流センターでも展示され、市民や県民から高評価を受けているのですね。

でも展示場所探しがたいへん。展示してもらえたら教室のみなさんは、とても励みになりますと語ります。

また、ある店舗に置いた作品が日光で色あせたら、新しく作り直すのだそうです。そんな気遣いも宮路さんの作品に対する愛情ですね。

一本一本の花が花束になった瞬間が無上の喜びだそうです。読者の皆さん、ペーパーフラワー教室の部員募集中だそうです。和気あいあいとした雰囲気です。お気軽に宮路さんに声をかけてください。